

第2回 これからの図書館を考える市民ワークショップ 実施報告

- 開催日時：令和6年6月15日（土） 13:30～15:30
- 開催場所：西駅交流センター 3階ホール
- 参加者：39名（うち司書4名） 10代～80代（男性23名、女性16名）
- 傍聴者：12名
- 内 容
 - 挨拶（生涯学習部長）
 - 第1回ワークショップの振り返り、新しい設計案の説明（設計事業者）
 - グループワーク
 - 新しい設計案を見て「不足点」「充足点」について意見を出し合う
 - グループワーク（ワークシート）で出た意見
…別添資料①②のとおり（※原文のまま）
- ワークショップの様子



▲模型を見ながら、設計事業者からの説明



▲班ごとに意見交換



市民からの意見（充足点）

	充足点	理由
スペース・エリア分けについて	子どもエリア	裸足コーナーの設置
	子どもエリア	子どもエリアが広く設けられており、親子の交流や親同士の交流の場として利用できそうだから
	子どもエリアと静寂エリアの棲み分け	子どもを連れて行きやすい。大人は静かに勉強できる
	子どもエリアの工夫が素晴らしい	裸足コーナーとお話し室～外部のイベントスペースのつながりの工夫が素晴らしいです
	子どもエリア	親子で利用できる
	子どもエリアに市民活躍テーブル	絵本を借りに来たお母さんたちが話せる
	子どもエリアの活躍テーブル	互いの悩みを話し合う場、仲間づくり
	交流エリアの多さ	図書館は交流の場としても適しているので、交流スペースが多いと盛り上がると思うから
	交流エリア	学生がみんなでワイワイ話せたりしたらいいな。社会人も色々話せたらいいな。情報交流の大切さ
	市民活躍テーブル	市民が自分で調べたことや発信したいことを発信できるスペースがあるというのは「調べる」だけでなく、その次の段階も想定されており良いと思う
	グループで気軽に集まって話ができる	市民活躍テーブルが多い
	市民の交流（市民活躍テーブル）	市民団体の学習や交流ができる場がほしい
	静寂室の設置	静けさを求める人に向けたのは良い
	静寂室	1階にも必要
	研究エリアの分離	閲覧エリアとの分離はとても良い
	2階研究エリア	グループ利用で話ができるクローズドな空間もつくれる
	1Fと2Fのゾーニング	一般利用者と専門性高い人と分けられていて使いやすい
1、2階での役割	1階の子どもスペースと、2階の学生、大人が調べ物をするスペースがしっかり分けられているのが良い	
カウンター隣に相談室があるのが良い	周りを気にせず相談できる。課題解決の課題のなかにはプライベートなものも考えられるから	
相談室がある	プライベートに配慮されてる	

	イベントスペースの設置	新しいイベント誘致の起爆剤になれば良い
	管理運営エリアの確保ができて いる	中央図書館としての管理力が充実してきてます
	飲食可能	軽食、飲料可がうれしい
	吹き抜け空間	図書機能以外の機能が魅力が出る
	リラックス読書エリア（東 側、又は駅側交流エリア）	木があるこもれば空間にハンモックをつけて、又、交 流エリアの一つを畳敷きにして足を伸ばしたり、こた つを置いてリラックスして読める空間にする（美術展 示スペースにもできそう）
	企業情報棚を開架棚に設置	学生向けの就活の情報（地元企業等）が発信できる棚 をつくることで学生ニーズに応える
設備に ついて	バリアフリー満たしている	視覚、聴覚にちゃんとケアできるところがほしい。幅 は確保できている→年寄りには？
	IFの各部屋の出入口？	内外の壁をガラス張りとして何をしているのか見える ようにする。外部イベントとの交流に必要
外観・ 外構・ 周辺整 備につ いて	2階が南北に向いていて、駅 から来た人を迎え入れて引き 込まれやすい	図書館の様子がわかりやすいので入りたくなる
	駅とのつながり	仮設的なもので「新しさ」を継続できる
	建物底上げの方法再検討	傾斜式出入り口の設置→出入口の造作の工夫。GL→2 m×→3m程度
	防災対策、かさ上げ、善処さ れたと思います	水災害でかさ上げプラス地下の水はけ（水害に強い排 管）に交換し、対応となればかなり軽減されるのでは
	高温、大雨、雪、河川。水災 害すごく考えてくださったと 思う	気候に左右される、あらゆることを考えつつ、設計が 変化していることが感じられます
	黒色壁はスリットは入るのか	床→天井までスリットを入れる。外部光を積極的に取 り入れる
	軒下の余白の利用	イベントが活発に行えることで、図書館利用者が増え ると思われるから
	今回の設計のなかで、1階の 建物が小さくなった→外部を 利用するエリアができてきて いる	お天気の良い日に外で読書を楽しめるのはとても良い （ただし……図書の持ち出し等の管理をどうすべきか …）
	軒下有効活用が魅力になるか も	今週のように連日 35℃になるとしたら日陰探してし まう。一日キッチンカー等滞在する等、市民バザーと か事業がしやすいかもしれない（市民活動）
	構成の面白さ	長方形と正方形のつみあげたかたちが面白い

全体について	コンセプト	「つみあげる」ってとてもいいと思います。歴史、情報、人のつながり……つみあげる場にしたい
	前回からの意見を踏まえ、すぐに変更されている	出した意見が反映されているので、ワークショップに参加した甲斐があります
	第一回の検討結果が反映された設計変更がある	
	何度にもわたるワークショップ等を開き、市民の意見を聞こうとする姿勢	いままでの市政は決まったことを押しつけることであったが、今回は広く聞く姿勢は感じられるが……
	設計者が図を書く前に市民の意見を聞いた	他の施設もこういうつくりに従ってほしい
	設計に対する、市民が意見を言える場を設定してくれたこと	
	空間が良かった	とてもゆっくりでき、学べる空間ができていると思う
	吹き抜けが少なくなって良かった	音が聞こえ過ぎずに良い
	本の日焼けが防げる	軒下が増えて周りが居場所になったことで日光が本まで届かなくなった
	若い人が利用しやすくなる。人口が増えれば良いな	仕事に関することも相談できる
	京都北部のハブ	周辺地域の市民グループや企業と交流する場がほしい
	充足点だらけです	これだけみんなで話し合えば、充足点いっぱいになりますよ……

市民からの意見（不足点）

	不足点	理由
スペース・エリア分けについて	個人スペースの増設可能等の対応	個人の課題を解決したい人、静かな空間でないと利用できない人が増えていると思われるから。流動的対応スペース
	個室が少ない	取り合いになるのでは
	個室の数	テレワーク、リモートできる場所がもう少し欲しい
	個室、リモート、仕事、秘密保持可能な個室、もう少しいるのでは？	仕事に使う図書館。たまたま舞鶴に滞在中の仕事として、個室、電源、Wi-Fi、必要な席、もう少し多くできないでしょうか。テレワーク、リモートワーク
	一人で集中して作業できるスペース	仕事でもリモートワークできるスペース。自習できるスペースがあったほうがいい。社会人が集まって話したりできるスペースにしたいのならば、そういったスペースが必要
	舞鶴の歴史コーナーが少ない	舞鶴の歴史を共有したい
	舞鶴の歴史の説明をきいたり、観覧するエリア	田辺城のガイドのボランティアの人がいるから、その人たちに当番に来てもらって説明してもらったら良い
	舞鶴に住んでいる障害者の人が活躍できるエリア	障害者の人が社会活動経験できるから
	舞鶴を発信する場	
	市民の持ち込み図書の開示コーナー	新刊図書だけでなく、個人古書も展示してはどうか。いまは古書の引き取りはしていない
	自衛隊コーナー、地元 PR のコーナー	地域の重要なキーワード。自衛隊にも困っている。家族のサポート。課題を解決
	高専生（学生）と子ども（市民）の交流	高専での研究や製作を高専内で完結させるのではなく、学外に発表することで市民と高専との交流を深めたり、子どもの自由研究を手伝ってあげたりするイベントやスペースがほしい
	高専、ポリテク等教育機関と市民	
	学生たちが集まって学べる空間	友だちと図書館に集まれる空間があるといいな。スマホ充電もできるといい
	交流エリアに展示コーナーがほしい	市民からのおすすめ本を展示したり、企業や学校の発表会ができれば良い
	企業の利用、発信	
企業スペース	企業発信スペースにて求人や、定住につなげたい (舞鶴市の情報発信スペース、多属性の集まる場所での活性化・情報発信を期待)	

カウンターを中心にする	入口が2ヶ所あるのでカウンターは中心にあるのがよい
カウンターがわかりにくい？	入口が南北になる場合、普通は中央部に司書さんのいるカウンターができる可能性が多いと思いますが、2階へ図書を持ち出すだけでなく、盗難や不審者の出入りへの配慮が大事ですね！
南北に長い建物なので、カウンターが少ないのでは	カウンターが遠いと、本を持ち運ぶときにも不便なのは？各階に一つだけでは並んで待つことが多くなりそうです
管理運営エリアは十分か？	職員の休憩、交代、分館への本の送り返しの作業等に十分なスペースか？
管理運営エリアは十分か？	2Fと1F別々に必要か？2Fは別の空間利用できないか？
管理者スペースの充実	図書館、本等の管理をするスペースが足りない
内部の動線の工夫	図書館職員様と利用者とはより交流できるように、又、直線と曲線もその目線の工夫を
交流室の在り方	むしろ交流スペースのほうが良いのでは？
グループが安心して使えるスペースがほしい	グループで調べ物したり話したり気兼ねなくしたい（課題解決）（大学のときそれが楽しかった！）
フリースペース、壁掛け等	アート展示場所があればいいと思います。通路のサイド両側に絵を掛ける。サークル、個人
ギャラリースペース、ピクチャーウォール等があるとよい	市民活動が盛んな割に、それを見てもらえる場所が少ない。やる気にもつながる
朗読・録音等の場所は？	障害者支援センターでもできているが棲み分けは？
雑誌エリア、市民活躍テーブル、交流エリア→いらない	音がうるさい、読んでる時に気になる
新しい本が入ったら、もっとアピールできる場所が欲しい	新しい本が入ってもわかりにくいから
外のラーニングコモンズが良い	人の活動が外ににじみでて面白い。市民に分かりやすく提示できる
バリアフリー	障害者だけじゃなく、年寄の人にも優しい図書館
館内、又は軒下（雨がよけられるところに）飲食スペースの明記	図書館での飲食を希望する人が多いので、長時間滞在可能になるから
エリアごとの関連性	にぎやかな場所と静けさな場所の区別。子どもスペースや交流スペースの共通点や、新聞スペースや勉強スペースの共通点から、隣接するスペースへの考慮は必要と思う
高齢者や若者等が集まってく交流の場を！！	前日も書きましたが、この近辺は高齢者が多く家にいるので、出向いて雑誌の場（お茶、軽食等）がほしいです

行政情報、郷土の情報	図書館に来たら、ひととおりの情報が揃っているようにしたい
融合	本のエリアと交流エリア等が混ざっているほうが活力が生まれると思う
政党の広報誌等、いまの図書館にはない	選挙の低投票率の向上には必要なのではないか
シベリア抑留や満蒙開拓団のコーナーがない	引揚港でもあるし必要なのではないか
まだ使い方がわからないので どうにでも使えるものに	どういう使い方もできるスペース、施設があればよい
市内各地に分散している「郷土史料」を整理し、集中展示すべし	開架式と同スペースの確保
交流エリアで講演、子どもの朗読会ができるように仕切りが必要ではないか	オープンでいろいろな取り組みができるのか？
交流エリアひとつにする	講演会とかの利用
イベント等を館内に	朗読、人形劇、楽器演奏
レイアウトについて	もう少し考える必要ある
安全に子どもたちが利用できるか	カウンターから子どもエリアが見えにくい
外への出入りについて	出入りに少し制限を設けては？
1Fの鉄道側に列車を見る席があるとよい	まちを楽しむ。夜間に特別列車が走ることがある
設備について	
トイレの改善（オストメイト用等）	1、2階ともに面倒な移動なく、身体に何らかの不自由がある方の利便性向上を図るため
オストメイトトイレの設置	
トイレは1Fも2Fもオストメイト対応してほしい（誰でもトイレ）+雨水利用（災害時も）	トイレは誰にとっても重要なこと。トイレが安心してできる場所には、じゃあ出掛けてみようか、という気持ちになる
映像を映す設備	仕事等のディスカッションで使用したい
交流スペースにスクリーン等を設置して色々使えるように	
コンセント付きテーブルを増やす	スマホの充電ができるため（福知山、宮津の図書館では数が少なく取り合いになっている）
スマホの充電ケーブル	災害時にも安心。とりあえず携帯があればなんとかなる
キッチン、科学実験等できる、水道付きテーブルのようなものがあるスペース	活動、イベントの幅が広がるから

お話し室の南側の壁にも出入り口があるのはどうでしょう	イベントスペースとして使う予定なら、外から直接入れる入口があっても良いのでは？	
屋上ソーラー	エコ、電気供給	
子どもエリアに遊具は？	床から天井まで壁全体を遊びのスペースとして利用しては？螺旋階段を意識して。 (外観から建物の中が想像できる工夫があれば。建物のコンセプトは？意匠に工夫を)	
面白味がまだない	子どもスペースにカプセルホテルみたいな秘密の小部屋とか楽しいものがほしい	
交流エリア等、机・いすを稼働にして、たとえば畳を敷いたり、コタツを置いたりしてみたい		
外観・外構・周辺整備について	西駅から図書館へのスロープは雨天対応できるものがほしい	これは、図書館の設計には関わってこないのかもしれませんが…！？外観もマッチしたものを考えるには、いまが大切であるように感じます
	駅直結、通路、図書館 2F につながる	車で来た人でない歩きの方、駅からの人の流れをつかまえる。通路、屋根（雨よけ）で、時間待ち合わせに定着したら、図書館をみな通るになるのでは
	駅前ガーデン、外のエリア、図書館が借景	すべてをデザインしきらず、自分たちがコミュニティデザイン。Ex：グンゼのバラ園が良い事例
	駐車場が少ない	駐車場に利用できる土地がない
	駐車場、高齢者が入口近くで乗降可能な場はある？	車椅子、手押しカート等のお年寄りが車から入口近くに降りられるか、乗られるか、設計で見て確認できない
	駐輪場について	駐車輪場との連携はとれぬか？
	屋上利用をできるようにする	花火の見えるスポットにするため（収益事業にすることもできるかも）
	屋上が使えるように！	外に出るように、くつろぎのスペースを！
	バルコニー（2階）	1階屋根上で外とのつながりがあれば
	屋上にもアクセスしたい	花火を見たりして、町内でまちを楽しみたい。にぎわい
	緑化、ランドスケープ、ちゃんと計画	市民が庭をいじれるようになりたい。市民活躍テーブルとつなげて、市民と一緒に育てる庭が欲しい。草むしりも楽しめる
	屋外に市民がつくれるガーデン	市民たちでつくれる充足感、楽しい
	ハンモック（庭に）	
	ガーデンにハンモックをかけたい	リラックスしていろんな楽しみ方をしたい。本を読むだけでなく画を見たり、団らんしたり
外部の防犯について	図書館の内側から外部が見えるようにできないか。南側風除室の壁が邪魔かも	

	一階の壁に窓がどのくらいあるのか	南北に良い風が吹くことが多いので自然の風を利用したい
	ハンモック（庭に）	
	イベント等を内外で共有できる外構空間を	イベントスペースの計画にプラスでピロティ空間での内外共有の計画を（わかりやすく導くなど）
	テラスの大きさが小さいのではないか	外で本を読んだり、外で勉強するには小さいと思ったから
	図書館のまわりの整備計画がまだ	図書館以外の整備が考えられていないとどういう図書館が良いか考えにくい
全体について	舞鶴らしさという要素	舞鶴市民はもちろん、近隣地域や日本国内から「舞鶴」という魅力を感じられ、さまざまな情報を伝えられることが重要だから。図書館というだけではほかの図書館と一緒に
	「舞鶴らしさ」の引揚についてふれていない	引揚記念館は、東舞鶴にあり、西、東ともに遠い。資料が図書館にあるとよい
	引場、田辺藩（江戸時代の藩）歴史を織る	「舞鶴らしさ」――過去。引場は唯一のキーワード。江戸時代の学び
	自衛隊、大学、企業等との連携	「舞鶴らしさ」――現在。学ぶ人、働く人、転勤族。産官学
	リカレント・リスキリングの推進	舞鶴の大人の学びの場――未来。子どもの学びの場
	吹き抜けが小さいのではないか	1階がもっと明るくなったところで本が読みたいから
	楽しい空間	どんな人も楽しく過ごせる、そこに本や司書が関われるようになりたい
	音響	
	作家を生み出す仕組み	舞鶴から作家を生み出す視点もあればうれしいです
	東にも図書館がほしい！！	みんな、西の人なんですか。話せば話すほど、東の人間は切なくなります。全部遠くなる話です。予算半分ずつ（15億円ずつ）にして、半分のスケールでもいいから東にも図書館（こんなのが）ほしいです！！予算半分にしても東にも同じくらいのものを1つずつにしませんか
	就活。企業情報の本とかあると良い	いろんな世代のキャリアプランを調べられる
	就活+終活	エンディングノート、相続セミナー等があるとよい